



乳・幼児のハリ治療



子どもの病気

夜泣き、かんむし、夜尿症など、子どもの病気には小児鍼が最適です。痛みはまったくないので注射を恐れる子どもでも安心して治療を受けられます。

子供さんに次めのような症状が起っていませんか(生後2ヶ月～6才)

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----|
| ○夜泣 | ○食欲不振 | ○かみつく | ○夜尿 |
| ○へんとう炎 | ○イライラ | ○体をかきムシル | |
| ○ツメをかむ | ○頭の毛を引張る | ○小児ゼンハンク | |

小児めハリは痛くありません

小児のハリは体に刺さず、軽い皮フ刺激による治療法で気持ちよく、眠くなってしまうほどです。

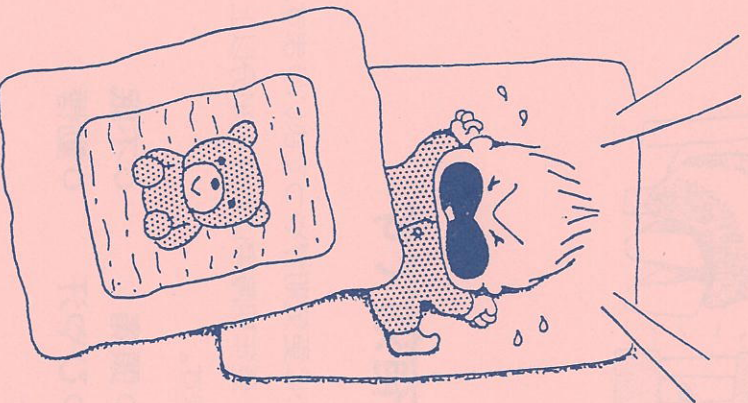
これらの原因は？

小児の体は未発達で、発育の途上のためわずかなストレスにも過敏に反応します。これにより一種の小児神経症になるためと考えられています。

昔からこの症状は、疳虫(かんちゅう)といわれて来ました。

小児めハリは

これらの症状に大きな効めをあらわします。子供の病気に対する抵抗力を作り、正常な発育をたすけます。症状にもよりますが通常、毎月3～5回程度、定期的に治療をうけるとよいでしょう。



女性の病氣とハリ・灸治療

冷え、めぼせ

病氣でもないのに頭や顔がのぼせ、手足が冷えるなど原因不明のものには
東洋医学の治療法が最適です。

女性は男性とくらべて体も心も複雑、それだけ自律神経失調やホルモンのバランスがくずれやすく、女性に限ぎられた不快な症状が出やすくなります。

これらの改善に、ハリ・灸治療は大変有効です。

- 生理不順 ○こしけ ○頭が重い
- のぼせ ○腰がダルイ ○足腰の冷え
- イライラ など多くの不快症状



更年期障害にもハリ・灸治療は有効です

女性には、みな同じように更年期がやってまいります。程度の差はありますが、更年期障害は女性の半分以上が経験するといわれています。

- 無気力感 ○頭痛 ○不眠
- 冷え ○ひや汗 ○動悸

など症状はさまざまです。

これらの症状を不定愁訴(ふていしゅうそ)といい、ホルモンと自律神経のアンバランスから発生します。

ハリ・灸治療を続けると、これらのつらい症状をやわげることができ、健康をとりもどせます。

